

三段峡と龍頭峡のspringエフェメラルを訪ねて

3/10 前日雪が降って、最低気温0℃の三段峡を訪ねた。山の斜面、遊歩道にうっすら積雪が残る。三段峡入り口（長淵橋）からすぐのセリバオウレン小群生は花の終わりが近く蒴果が出来かかっていた。今日の目的はセリバオウレンと並んでspringエフェメラル《春の妖精》と言われる、ケスハマソウだ。



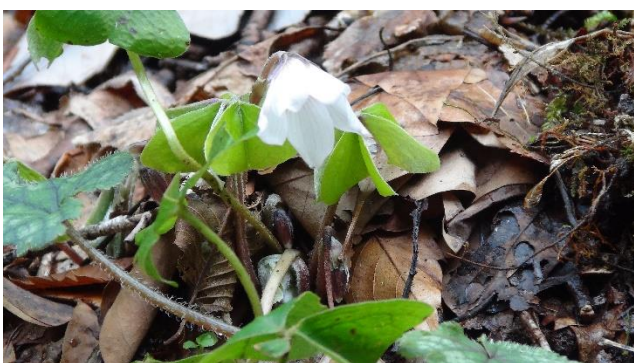
セリバオウレン



シロバナショウジョウバカマ



イチリンソウ（まだ蕾）



ミヤマカタバミ





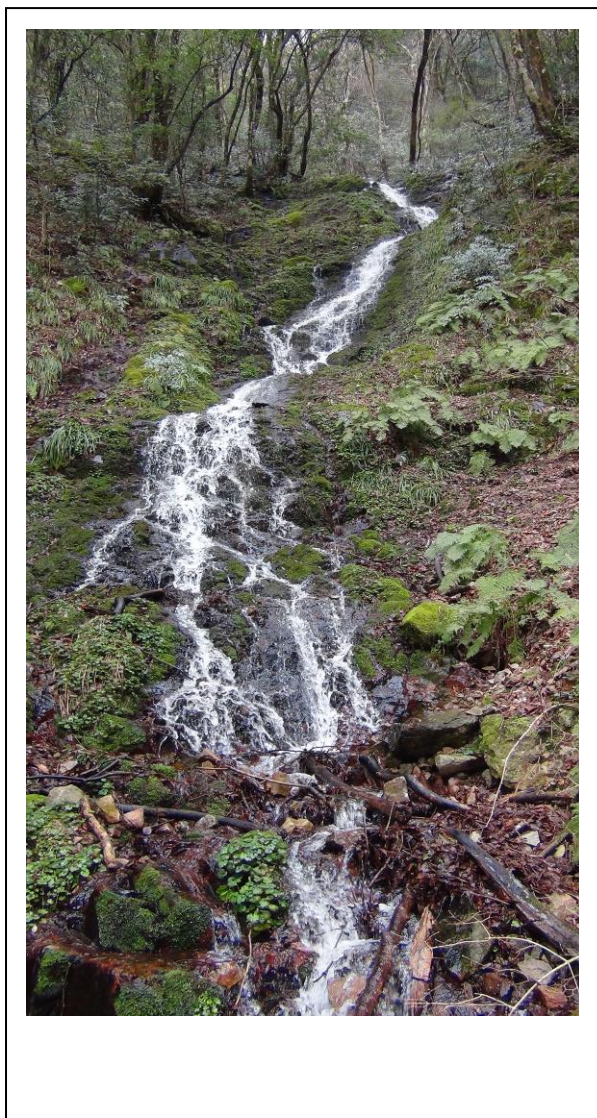
ツルアリドオシの実

黒淵のすぐ手前で、ケスハマソウの群生に出会う。咲いていて感動。今年は開花が早い。



蕾が多く、春はこれからといった感じ。日当たりに咲く姿は可憐である。遊歩道は、冬の間には落石が多く有り歩き辛い所も有る。巨岩崩落箇所と倒木で道が塞がれたところ1か所。個人責任で通過は容易にできる。花を求めて歩くパーティーにも出会った。水量が多いので滝は何処も見ごたえ充分。美しい！！

※葉の先端がとがっているのがミスミソウと判断できるのですが、比婆科学教育振興改編広島県の山野草では、スハマソウと紹介されています。広島大学デジタル自然博物館によると、広島県に分布しているのは全てケスハマソウと記されています。



繊細なツララのアート



吊り橋は雪道



水梨林道駐車場手前の東屋（大淵休憩所）を過ぎると、再び群生が始まる。セリバオウレンの花とケスハマソウの花が入れ替わる時期だ。

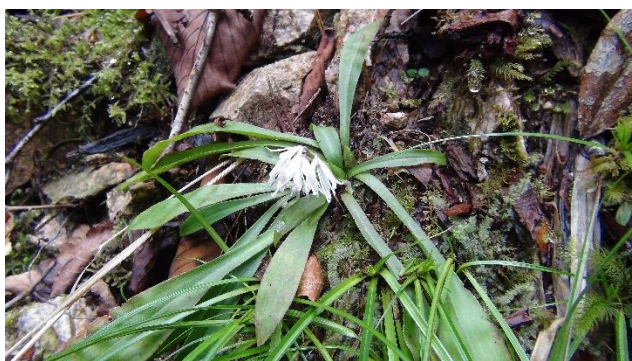


大淵休憩所

ミヤマシキミ

水梨林道駐車場まで片道5.7 km。花を見ながら往復5時間半の散策でした。

帰りに、龍頭峡に寄った。戸河内道の駅から15分程度で行ける。
気になったのはバイカオウレンとシロバナショウジョウバカマ。いずれも早春の妖精たち。
天上山登山口の所まで車両が入る。此処のトイレは暖かく快適です。
龍頭の滝遊歩道を進むと、早速セリバオウレンが迎えてくれる。シロバナショウジョウバカマも
花をのぞかせていた。足元には期待したバイカオウレンの花。来てよかった！！
斜面にはまだ雪が残る寒い環境なので、花はこれからという状況。



階段を上って、滝を展望できる
遊歩道を進むと、セリバオウレ
ンの群生とイワタバコ群生が
あります。